



自社発行のフリーペーパーと会社概要



(左より) 経理・総務 二川 文美 様
メディカルライティンググループプロジェクトリーダー/ライター
中川 華 様
アカウントプランニンググループプランナー・ディレクター
井村 佳恵 様

会社概要

- 本社所在地:〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 M-City赤坂1丁目ビル5F
- 従業員数:11名
- 事業内容:医療用医薬品専門の広告代理業
- URL:<http://www.pin-japan.com/>

た。テレワークを導入する上で生じる課題を明確化することが目的の一つだったので、実証してわかったことは、大きな成果と言えます。さらに、調査や企画書・原稿作成は在宅勤務に向いている業務である一方、アイデアをすり合わせたりする社員同士の打ち合わせは、顔を付き合わせた方が効果的である等、在宅勤務に向いている業務とそうでない業務を明確にすることができました。一方、全く想定外の課題も見えてきました。在宅勤務者はインターネットの共有カレンダーに在宅勤務日を記入するルールになっていましたが、誰もが全員の予定を表示しているわけではなかったため、お客様から在宅勤務者にかかったきた電話を取った社員が、今不在なのは在宅勤務だからなのか、休みなのか、外出中なのか分からず、対応に苦慮する場面もありました。在宅勤務の社員が現在何をしているかを、会社にいる社員が把握できていなかったため、今仕事を依頼していいかを気遣うケースもありました。そうしたことが

ら在宅勤務の際は始業時に「今日は16時まで在宅勤務です」というようなメッセージを全員に送る等の方法が必要だと気付かされました。

モデル実証を終えて
テレワークの本導入に向け
クラウドサービス等を準備中

在宅勤務の社員と会社に通常出社の社員の円滑なコミュニケーションは、重要なテーマだと実感しました。今後、こうした課題を整理し、全社員に向けてテレワークを本格的に実践していく予定です。モデル実証事業で明確になった課題を解消するためにも、今回できなかった一人一人へのノートパソコンの貸与、情報共有のためのクラウド化、会議システムの導入等を実現していきたいと考えています。

誰もが在宅勤務できる体制を構築

社内と在宅勤務者との円滑なコミュニケーション
その重要性に気付くことができた

テレワーク導入の課題を
明確にしたい

当社は、1995年に医療用医薬品に特化した企画提案型の広告代理店として創業しました。製薬メーカーのブランディング、マーケティングプランの策定、メッセージ開発等の戦略構築から医療用医薬品の学術資料、Webサイト、チラシ、冊子のコミュニケーション資料の制作、イベントの企画提案等、多彩な業務をワンストップで行っています。社内は、営業、ライター、デザイナーの3つの部署に分かれています。ライティングやプランニング等、在宅で取り組みやすい業務が多く、テレワークを比較的導入しやすい環境にあると言えます。また、代表は以前から社員の働き方改革に強い思いを抱いており、在宅勤務の導入を試験的に行っていました。将来的に本格導入することを視野に入れていたことから、今回のモデル実証事業への参画は、当社の働き方改革の契機と考えました。この事業を通じて、誰もが在宅勤務を行える体制を構築すると共に、テレワークを導入する上での課題を明確にすることを目的としました。

精神的なゆとりと
時間の有効活用が実現

テレワークを実施したのは、ライターの中川とプラン

ナーの井村の2名。いずれも小さな子どもを持つ母親です。始めるにあたって、在宅勤務を行う日をインターネットの共有カレンダーに明記すること、在宅勤務日も就業開始時は上長にメールする等、簡単なルールを作成しました。導入効果としては、「子どもを保育園に送り、家で仕事に取り掛かる前に少し家事の時間を作れた」「通勤時間がないので時間を有効的に使え、精神的にもゆとりが持てた」等の声が上がりました。また、2名とも短時間勤務を行っており、短い勤務時間でのスケジュール管理に苦慮する日々ですが、繁忙期には通勤時間を勤務時間に充てられるというメリットもありました。



在宅勤務で業務を行う中川 華 様

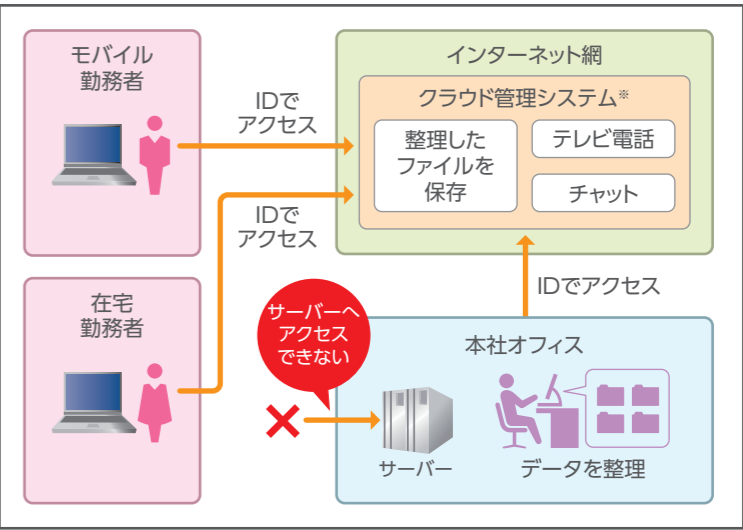
課題が明確になったことが
最大の成果

課題として浮き彫りになった点は、ライター業務の流れが若干滞った面があったことです。在宅勤務中のライターと社内にいるライターが相互で原稿をチェックする際に、その都度スキャンしてメールに添付して送るという手間が生じました。しかし、これはワープロソフトの校閲機能に直接赤入れする等の対処で解消できまし

解決ポイント



在宅勤務について振り返る二川 文美 様、中川 華 様、井村 佳恵 様



経営課題

- 一部社員ではなく、誰もが在宅勤務できる体制を構築したい
- テレワークを導入するために対処すべき課題が見えない

導入概要

- 在宅希望日を上長に相談の上、インターネット上の共有カレンダーに在宅勤務日を明記
- 在宅勤務者は業務開始時に上長にメールで連絡

導入効果

- 精神的なゆとりや子どもとの時間の確保、通勤に要していた時間の有効活用
- 在宅勤務の本格導入への課題の明確化
- コミュニケーションの重要性の認識

モデル実証企業
からのアドバイス



- ◆課題の明確化
テレワークを実施して初めてわかることがあります。まず小さなことから実行してみて、明確になった課題を解消していく形で段階的にレベルを上げていく方法がおすすめです。
- ◆コミュニケーションの重要性
在宅勤務者と通常出社の社員のコミュニケーションがとても重要です。お互いに気を使わず、効率的に情報共有できる仕組みが必要と感じました。
- ◆適した業務と適さない業務
テレワークに適した業務と適さない業務があるので、きちんと見極めて切り分けすべきだと思います。

■クラウドとは：インターネット上にデータを保存する使い方、サービスのこと。
※クラウド管理システム：クラウドで提供される業務管理サービスやチャットサービスなどの総称。